

科目名	保健医療学概論 (Introduction to Health Science)			科目コード	M101
選択区分	必修	履修時期	1 前	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)
担当教員	中西 純子・草薙 康城・鳥居 順子・山岡 源治			関連DP	看③⑥、医③⑥
授業概要	本科目では、保健医療に対する考え方の変遷や今日的課題について総合的に概観するとともに、保健医療における専門分野が担う役割と課題について毎回教員から話題提供し、それぞれの立場を踏まえた保健医療への貢献についてディスカッションを重ねながら、保健医療に対する考察を深めていく。				
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療における広い視野をもつことができる。 2. 自分の立ち位置を保健医療全体の中に位置づけて捉え直すことができる。 3. プレゼンテーション、ディスカッションを通して、自分の考えを拡大、深化できる。 				

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	科目の位置づけとねらい・方向づけ	保健医療学とは、保健医療の今日的課題 保健医療を支える様々な職種誕生の歴史と背景	中西純子
2	各職種のキャリアアップの動向と必要性・意義①	様々な認定 or 専門資格のなかから各自1つを選び、役割、活動、資格要件、認定機関、教育機関、教育課程等について紹介(プレゼン)する。	
3	各職種のキャリアアップの動向と必要性・意義②	認定 or 専門資格誕生の背景とその意義、課題、今後の展望について検討する。	
4	公衆衛生学領域からの保健医療への貢献	疾病予防(公衆衛生学領域)における現状と課題、保健医療への貢献について、教員からの話題提供にもとづき、討論を行う。	鳥居順子
5	臨床医学からの保健医療への貢献	先端医療における現状と課題、臨床医学からの保健医療への貢献について、教員からの話題提供にもとづき、討論を行う。	草薙康城
6	検査/診断領域からの保健医療への貢献	検査/診断領域における現状と課題、保健医療への貢献について、教員からの話題提供にもとづき、討論を行う。	山岡源治
7	保健医療への貢献	保健医療、保健医療学とは何かを改めて洞察し、それぞれの立場や職種においてこれからの保健医療においてどのような貢献ができるか、あるいはほしいか各自がプレゼンテーションを行い、全教員とともに総括討論を行う。	中西純子 鳥居順子 草薙康城 山岡源治
8	—自分の立場から—		
成績評価方法	オムニバス回分(40%:各担当者の評定を平均する)、最終プレゼン:レポート内容(40%)、発表・討論(20%)		
必携あるいは参考図書・文献	各授業で紹介する。		
授業時間外の学習について	第2回・3回・7回・8回については、各自がテーマを設定し、事前学習の上、プレゼンテーションできるよう準備を行う。		
関連科目	102 地域保健医療特論、103 保健医療チーム特論		
備 考			